福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：356

立ち上がる際にブレーキのロックが解除され転倒しそうになる

場面の説明

歩行車から立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除され、ふらつき転倒しそうになった



利用シーン	立ち座り
主な利用場所	その他
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

歩行車で座って休憩した後、立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除されてふらついてしまった事例です。歩行器の幅が狭い場合や、利用者がふくよかな場合、冬季で着ぶくれている場合などに、ブレーキレバーに引っかかりやすくなります。利用者がブレーキが外れる可能性を理解した上で、慎重に動作をする習慣が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：歩行車の幅が狭く、腰がブレーキに触ってしまった
人：リスクを予測して選定できなかった
モノ：歩行車の幅が狭く、ブレーキレバーが引っ掛かりやすい
管理：導入の際の使用上の注意喚起が不十分だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：356

立ち上がる際にブレーキのロックが解除され転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

歩行車から立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除され、ふらつき転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.